

需給最適化プラットフォーム事業

技術テーマ区分番号 : ㉓

関連外部リンク先

- 需給最適化プラットフォーム事業を展開中
[<https://jpn.nec.com/vci/optimization/index.html>]

取組活動の内容

事業目的・概要

- 経緯・背景など

深刻な問題である食品ロス

まだ食べられるのに廃棄される食品ロス。世界で年間約13億トン、国内では年間約612万トンにも及んでいます。食品ロスは、生産・加工・物流・小売・消費のバリューチェーンの各段階で発生。その原因の1つが、需要と供給のミスマッチです。

NECの「需給最適化プラットフォーム」は、AIによる需要予測によりバリューチェーン全体の課題を解決し、食品ロスの削減に貢献します。

- 方針・アプローチなど

AIによる「異種混合学習技術」で需要予測を最適化

「需給最適化プラットフォーム」は、NECのAI「異種混合学習技術」を活用。多種多様なデータの中から精度の高い規則性を自動的に発見し、その規則に基づいて状況に応じた最適な予測を行います。

- 期待される効果・今後の課題や展開など

需要予測の精度を向上

このNECのAI技術により、販売動向に影響を与える気象情報や販売実績などの様々なデータやノウハウを組み合わせることで、属人化の排除や発注工数の削減、在庫量の最適化など、お客様の経営的な課題解決を図ると共に、社会課題の解決に取り組めます。

イメージ図



図1：食品ロスの課題

需給バランスのとれたバリューチェーン構築により、食品ロスを削減



図2：NECの提案する需給最適化プラットフォーム